

2月緊急議会

補正予算を全会一致で可決

根室市議会は15日（火）、午前10時より緊急議会を開き、7千108万円の増額補正予算案を全会一致で可決しました。

今回の補正予算は、「新型コロナウイルス関連緊急経済対策展開計画」に基づき、感染症まん延防止対策及び除雪対策経費の増額が主な内容となっています。

生活物資等支援経費に228万円
生活物資等支援とは、コロナに感染されて自宅療養している患者さんと濃厚接触者に対する生活必需品等支援セットの配布に係る経費です。

生活物資等支援経費に228万円
生活物資等支援とは、コロナに感染されて自宅療養している患者さんと濃厚接触者に対する生活必需品等支援セットの配布に係る経費です。

生活物資等支援経費に228万円
生活物資等支援とは、コロナに感染されて自宅療養している患者さんと濃厚接触者に対する生活必需品等支援セットの配布に係る経費です。

生活物資等支援経費に228万円
生活物資等支援とは、コロナに感染されて自宅療養している患者さんと濃厚接触者に対する生活必需品等支援セットの配布に係る経費です。

生活物資等支援経費に228万円
生活物資等支援とは、コロナに感染されて自宅療養している患者さんと濃厚接触者に対する生活必需品等支援セットの配布に係る経費です。

28セット分の予算を追加したものです。セットの内容はパック入りのごはん、レトルト食品、缶詰等の食料品と、マスク、消毒液などの衛生用品計1万円相当となっています。

感染症拡大防止対策事業経費に1880万円
濃厚接触者の疑いがある市民に配布する『抗原定性検査キット』購入に要する経費です。今回の補正で2万セット購入する予定です。保存期間は2年間となっています。

除雪対策費に4千万円
今後の除雪作業を円滑に行うための予算です。今年例年と比べて降雪が少ないように思いますが、このまま推移してくればよいのですが…。

除雪対策費に4千万円
今後の除雪作業を円滑に行うための予算です。今年例年と比べて降雪が少ないように思いますが、このまま推移してくればよいのですが…。

除雪対策費に4千万円
今後の除雪作業を円滑に行うための予算です。今年例年と比べて降雪が少ないように思いますが、このまま推移してくればよいのですが…。

除雪対策費に4千万円
今後の除雪作業を円滑に行うための予算です。今年例年と比べて降雪が少ないように思いますが、このまま推移してくればよいのですが…。

「根室市新型コロナウイルス関連緊急経済対策展開計画」改定へ

緊急議会の議案ではありませんが、根室市新型コロナウイルス感染症対策本部は、8日の本部会議で、緊急経済対策展開計画を改定することを公表しました。

○計画期間の変更（延長）

当初の計画期間は2020年4月から22年3月までの2年間でしたが、感染再拡大の抑制を図ることに、消費や需要の縮小などのリスクに十分に留意し継続して対策を講じる必要があるとして、24年3月までの4年間としました。

○新年度当初予算で

これまでの展開計画の取り組みは補正予算で措置されてきましたが、22年度は当初予算で位置づけられています。具体的には、医療機関にマスクなどの資機材、医療施設や介護福祉施設などに抗原検査キットの配布、プレミアム付き商品券の発行などが計画されています。

コロナ渦 踏ん張れない

参院調査会 岩渕氏に参考人



日本共産党岩渕友参議院議員

参院国民生活・経済に関する調査会は9日、「困難に寄り添う支援の構築（社会につなぐ支援）」をテーマに参考人質疑を行い、日本共産党の岩渕友議員が質問に立ちました。

岩渕氏は、コロナ渦の影響について、東洋大学の加山弾教授、滋賀県野洲市市民部の生水裕美次長、認定NPO法人フローレンスの駒崎弘樹代表理事の3氏に質問しました。

3氏とも「もともと脆弱（ぜいじゃく）性・リスクを抱えていた方に負の変化がすぐあらわれた」「本当に踏ん張っていた方が踏ん張ることがもうできなくなった」というのは、現場での実感」との認識を示しました。さらに生水氏は、困っている人の負担を取り除くために「生活保護について車の所有を全国統一で認めることが必要だ」と答えました。

また岩渕氏は、国会で中小企業の役割について取り上げてきたことをあげ、中小企業がコミュニティづくりで果たす役割について質問しました。

加山氏は中小企業等との連携が重要だとして、サロンや子ども食堂の場所を提供し、世代間交流にも一役買っているなど連携の例を示し、「事業者の専門・専門外のハード・ソフトを生かして地域づくりに貢献してもらおうことは今本場に大切なことだ」と答えました。

（2月16日付「しんぶん赤旗」日刊紙より）